

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・先月は最悪であったが、今月はうっすらと良くなっている。1年を通してみると、一昨年が最悪で、昨年从今年にかけてやや良くなってきているかなという雰囲気である。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・例年に比べ春物の動きが早く、また冬物も最終価格での動きがまだあり、両方で売上を伸ばしている。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・今月は中旬にリニューアルオープンするショップが3店あり、そのオープニング効果により、客数、売上ともに大幅に増加した。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客数は横ばいだが、一品単価が下げ止まって買上点数が増加中である。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は昨年同時期より確実に伸びており、個人の消費については回復及び上昇の傾向が見受けられる。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・朝昼の工事客が増加しており、客数は増加している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・以前は前年比割れが多かった客数が、最近になってやっと前年を上回るようになってきた。ただし客単価、買上個数については、まだ低下したままである。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	単価の動き	・ブライダル関連で、フォーマル及びスーツが動いている。高額商品が売れ、洋品はまとめ買いや単価も高くなっている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・販売額は微増であるが、来客数が前年比10%程度上昇している。気温が上昇して春物商材の動きが活発になれば販売額の伸びが期待できる。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・テレビ関係を中心に大変動きが良い。オリンピック、ワールドベースボールクラシック、サッカーワールドカップ等先タイイベントがあり、地上デジタルテレビ、薄型テレビを中心に顕著な動きがみられる。パソコンについては前年並みであるが、テレビの上乗せ分があり、全体的には上向き傾向である。
		家電量販店（予算担当）	お客様の様子	・販売担当者の中に、購入の際、接客から決定までの時間が短くなったとの声がある。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・季節商品は別にしてもETC車載器やナビゲーションの動きは良く堅調に推移している。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・2月より、一部メニューの値上げを実施したが、客数減にならず順調に推移している。宴会コースも単価アップ傾向である。
		その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	単価の動き	・オリンピック関係の新商品と販売促進が功を奏し、開催とともに客足が伸び、客単価も落ち込みが少なく売上に弾みがついてきた。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前年同期と比較して、客数が増加している。
		観光型ホテル（経理総務担当）	来客数の動き	・昼食への来客数が増加している。
		都市型ホテル（総務担当）	販売量の動き	・宿泊、一般宴会数については、前年対比で増加傾向にある。売上においては、2月期は減少傾向になるのだが、その幅は以前に比べ縮小傾向にある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・1月の後半から2月にかけて、国宝「五重塔」の内部が半世紀ぶりに公開されるイベントがあり、タクシーや鉄道の利用者が増加した。
	タクシー運転手	販売量の動き	・今月はオリンピックがあり、夜遅くの外出客は少ないようである。しかし、売上は依然として前年を上回っており、前年が一昨年を上回っていることを考えれば、上向きになっている。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・前年同期と比較して動きが良くなっている。	
	テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・大雪が予想された2月も暖かい日が続き、多くの来客があった。団体旅行客も、大型の社員旅行がいくつか入り、好調であった。	

変わらない	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・この時期としては来客数が増加した。天候の回復とあわせて、冬の控えの反動もわずかながらある。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・12~1月は寒さの影響もあり、ベビー子供服も順調であったが、今月は冬物がポツポツ売れるだけで、春物は全く動きがない。春物商戦は全く見通しが立たないほど悪い。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・悪さの中でも、若干明るさが出てきた。消費者の動きにも活力が出てきたようだ。
	百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・売上高を前年比較で見ると10%程度の伸びとなっている。
	百貨店(販売促進担当)	お客様の様子	・春物商戦がスタ-トしたが、目玉商品はほぼ前年並みで推移している反面、冬物セ-ルは取引先の生産調整もあり適品不足が顕著である。特にミセスゾ-ンの動きが悪い。
	百貨店(売場担当)	お客様の様子	・春物の動きが好調である。特に、綿素材、麻素材の夏まで着られるものが売れている。また、ほとんどの客が、旅行、お出かけ用として購入しており、実際の着用時には、売場商品が半袖になっていることから、先を見越して買っているようである。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・2月については、昨年が落ち込んでいたこともあり、全種類の商品において前年をクリアしている。特に婦人服のプロパー商戦も順調で、それと同時に売りつくしのセールも好調である。
	百貨店(売場担当)	お客様の様子	・昨年に比べて、防寒商品が12、1月と前倒しに売れており、2月単月では、その分非常に悪かった。ただし、春物については、好調に売れ始めている。
	百貨店(購買担当)	お客様の様子	・今月は店内の改装があり、各階で改装売りつくしセールを実施したため、来客数が例年より増加している。売りつくし最終価格でのセールのため、まとめ買いも多く見受けられた。またプロパー商品についても、入学卒業式など、付添い着の売上が好調に推移して、今月も売上アップという状況である。
	スーパー(店長)	単価の動き	・2月は節分、バレンタインデーの催時があった。バレンタインに関しては、例年に比べ高額商品の動きが良く、売上も前年比106%と高く推移したが、食肉、野菜、水産等の生鮮食品については、相変わらず客単価、一品単価が伸びず、前年割れとなっている。
	スーパー(店長)	お客様の様子	・価格競争が続き、客の買い回り傾向が強く、客数は前年を上回るが買上点数は減少し、客単価も低下している。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・客単価は先月、先々月と変化なし。来客数も大きな変動はない。
	スーパー(店長)	単価の動き	・客数、販売点数は前年と比べて、102~103%と伸びているが、客単価は前年比95%と下回っている。こういった状況が半年以上続いている。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・地方においては、依然として消費動向が低迷している。また、客単価の落ち込みも続いている。
	スーパー(総務担当)	単価の動き	・平均単価が上昇しない。競合店との兼ね合いもあり特売単価が低下したままである。せめて販売数量でも上昇してくれればいいが1~2ポイント低下している。
	スーパー(経理担当)	販売量の動き	・地方では、公共事業がかなり減少してきており、その影響がじわじわと出ていて購買意欲に水を差している。
スーパー(販売担当)	お客様の様子	・今までと状況は変わらず、客は売出しの商品を目指して、あちらこちらの店を渡り歩いている。	
コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・月を追うごとに状況は良くなるはなってきたが、まだ、もう一息というところである。2月はコンビニの出店が多い月であるが、このエリアでも、4店開店し3店閉店という厳しい状態である。一部のチェーン店では、売上が戻ってきているようだが、やはりもう一息である。	
コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・今月の大きなイベントとしてバレンタインデーがあったが、100円~200円の義理チョコがほとんど売れていない。1人当たりの購入数が減少している。	

	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前に比べると、売上高は前年比で0.4%のみの改善、客数は3.5%の改善で前年をクリアした。ただし客単価は前年比3.0%低下し、大きく前年割れを起こしている。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ウィンドウショッピング等、少し増えている気配もあるが、それが売上にはつながっていない。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・トリノオリンピック景気、とはならなかった。A V、白物全般に販売不振である。来店客も少なく、「仕掛けるも踊らず」の状態である。
	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・2～3月は需要月ではあるが、前年の販売量と比較すると大変厳しい状況である。
	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・時期的なものもあり、本来なら良くなっていないけれどもならないのだが、来店客数の割には販売量が伸びていない。
	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新規来場が激減している。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・週末のイベント開催時には、来店客数は昨年比に比べ増加しているが、その数字が販売量の増加にはつながっておらず、前年比では増減なしといったところで推移している。
	乗用車販売店（サービス担当）	来客数の動き	・昨年はこんなことはなかったが、店頭で新規の客があまり来店しない。よって、店頭での契約数がかなり減少している。
	その他小売（営業担当）	来客数の動き	・広島への観光客が増加し、売上増につながっている。
	高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・一般の宴会、婚礼ともにまずまずの来客数であった。特に婚礼については、1月に引き続き高単価で推移している。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・当月は降雪の風評被害等もあり客室部門が落ち込んだが、料飲部門では宴会は例年並みで、レストランは来客数、単価ともに前年を上回った。若干ではあるが消費は回復基調が続いているようだ。
	都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・レストラン全体の来客数は前年比に比べて微増、収入も上回る見込みであるが、明確な目的のある利用が多く、日常的な利用客は減少している。
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・まだまだ中小企業の客の元気がないようである。それと同時に、インターネットの普及で来店客数が減少している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・乗客から「最近景気はどうか」という質問がここ数日出るようになったが、悪さの確認のためのような雰囲気である。全体としては、良くないように思われる。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新規加入契約数は低下したままで、かつ解約数も増加したままである。新メニューに対する反応も鈍く純増加数は低迷しており、さらに減少もみられる。
	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・光電話等の販売量は横ばいであり、顕著な伸びは見受けられない。
	テーマパーク（財務担当）	来客数の動き	・年末から長期の企画を実施したが、期待ほどの集客にはならなかった。2月は特に平日が伸びず、昨年実績をやや上回る程度にとどまった。イベント効果による景気の上向き感を感じられなかった。
	競艇場（職員）	来客数の動き	・入場者数、発売金額ともに横ばいである。
	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・受注契約件数があまり増えていない。このところ、民間の動きも様子見状態なのか動きが悪い。
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・本来なら一番の顧客である40代の購入意欲が特に低い。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量が上向き傾向の兆しはまだ出てきていない。
	住宅販売会社（経理担当）	来客数の動き	・モデルルームへの来場者数は前年比、計画対比においても依然として下回っている。これは耐震偽装の影響で「マンションに興味はあるがすぐに購入する予定はない」というレベルの潜在顧客の来場が減少したものとと思われる。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数、購買額共に減少中。なかなか底がみえない感じである。

	一般小売店 〔靴〕（経営者）	販売量の動き	・客の購入予算が二極分化しており、高額商品がすぐ売れる日と、そうでない日とで売上数、客単価が極端に変わっている。この傾向が最近、著しく顕著になり、全体的に良くない。
	一般小売店〔家具〕（経営者）	販売量の動き	・依然として買い控えが続いている。
	一般小売店 〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・全国の景気回復の動きは加速されていると報じられている。弊社は今年の1月後半から東京で催物があった出店したが、売行きは前年を上回り、大変好成績であった。しかし、我々の周辺では全く回復の実感が感じられない。
	一般小売店〔印章〕（営業担当）	来客数の動き	・毎年2月は売上の落ちる時期ではあるが、当社の本店は仕事が多い。駅舎火災にあった仮店舗の駅支店は、大幅減収を見込んでいたがさほど大きな減収もなく推移している。しかし駅舎火災では当店以外の他の多くの店舗が被災しており、このため被災をまぬがれた商業施設においても来客者数などに悪影響があるようだ。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・2月前半は非常に冷え込んだうえ、雪の影響もあり、来店客数が前年比90%前後と非常に苦戦した。まだ寒い日が続いており、客数も例年と比較して悪い状況で推移している。
	スーパー（店舗運営担当）	お客様の様子	・客単価が確実に落ちている。
	衣料品専門店 （地域ブロック長）	販売量の動き	・年明けからの悪い流れがそのまま続いており、商品の値下げをしても、販売量の増加にはつながらなかった。
	衣料品専門店 （販売促進担当）	来客数の動き	・今月はまだまだ寒い日が続いているが、冬物商材があまり残っていない。春にはまだちょっと早く、様子見の客は多いのだが、見るだけで売上にはつながらない。
	住関連専門店 （広告企画担当）	単価の動き	・客がかなり慎重。全般的に「失敗しないように」という考え方がベースになっている。「夢」「あこがれの」という感じではない。
	その他専門店 〔時計〕（経営者）	お客様の様子	・修理をして使用したいとの行動が多くみられ、新しい品に買い換える客が少ない。
	その他専門店 〔カメラ〕（地域ブロック長）	それ以外	・我々の業界では メーカーの撤退・リストラが続いて発表され動揺している。もちろん来店客の反応も同じである。
	都市型ホテル （スタッフ）	単価の動き	・宿泊部門では多くのホテルの室料が随分と低下しており、通常の室料では集客が見込めないため、室料を引き下げざるを得ない。そのため売上が増加しない。
	タクシー運転手	単価の動き	・昨年の12月が例年になく景気が良かったので、1～2月もこの景気が続くかと期待していたが、1月2月とも昨年同様極端に悪くなった。売上平均では前月より10%～15%低下している。また長距離客が極端に減少している。
悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・商店街の廃業、撤退店が一気に3軒増えて、計10軒になった。
	住関連専門店 （営業担当）	来客数の動き	・今月になって来客数が特に落ち込んでいる。
	タクシー運転手	それ以外	・当社のシェアが落ち込んでいる。同業他社が良いのか、業界全体が沈んでいて、それ以上に当社が前年を下回っているのか分からないが、どちらにしても悪いと言わざるを得ない。
	通信会社（社員）	販売量の動き	・3か月前と比較して、販売量、来客数ともに減少している。
企業動向	良くなっている		

関連	やや良くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単月の前年度比では、水揚数量で120 tの減少、率で95%。水揚金額では、1億1200万円の増加、率で131.7%であった。水揚数量の減少理由は中型巻き網、大型定地網の減少によるものである。金額は増えていても1月度は水揚数量が伸びていないことが、非常に憂慮される。昨年はイカ漁が激減した。既に青物魚は減少の声を聞いて数年になる。今後全ての魚種の水揚が減少しないことを願うばかりである。</li> <li>・原材料価格のアップに対し、徐々に販売価格に反映できるようになってきた。</li> <li>・小さな在庫調整を乗り越え堅調に進む可能性もあるが、アメリカの景気次第、という面も否定できない。</li> <li>・北米向けの自社製品の売上が回復してきている。</li> </ul>
		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	
		非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連は国内・欧米とも好調な受注が入っており、ラインのフル操業状態が続いている。携帯関連は、春モデルに向けてメーカーも強気になっており、急激な生産増となっている。</li> </ul>
		建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間工事において、ファンド関係の物件が具体的に動き出した。ただ製造業関係の設備投資計画は、依然として様子見の傾向が強い。</li> </ul>
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出を中心とした主力車の販売好調を背景に、生産はフル操業を持続中である。原油高に伴う原材料費は上昇しているが、徐々に製品価格への転嫁も進んでおり、収益面も拡大傾向にある。</li> </ul>
		金融業（営業担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手企業の好調さが、まだまだ地方には届いていない感がある。しかしながら、下請の中にも、業種によって好調なところとそうでないところが二極分化しており、特に物流関係はよいようである。</li> </ul>
		会計事務所（職員）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小売・卸業は相変わらず低迷が続いているが、一部製造業の中には受注量をこなしかねない状態が続いているところもある。また、年度末ということもあるが、建設業も受注が増加してきている。</li> </ul>
	その他サービス業〔清掃具レンタル〕（情報管理担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月、2月と対前年の売上額が100%を上回る見込みである。</li> </ul>	
変わらない		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量、出荷量共に先月と大きな変化はなく安定している。社内は全般に高稼働率で、物流費・原燃料費高騰の影響を受けながらも好景気（販売価格の上方修正等）の影響で、利益が出ている。</li> </ul>
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口案件を継続して製造中のため、生産水準は高いまま推移している。短納期品の飛び込み受注もあって製造現場の多忙感は継続している。</li> </ul>
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料価格は高止まりしているものの、仕事量は豊富であり、フル生産で対応している。この傾向は過去6か月と同様であり、大きな変化はない。</li> </ul>
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注量は相変わらず高いレベルを維持している。</li> </ul>
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月に引き続き、受注量、受注価格とも横ばいのまま推移しており、原材料の購入価格も高止まりのまま、依然として採算的には厳しい状態が続いている。</li> </ul>
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運送業界は安価競争に入っているため、収益が上がらない。</li> </ul>
		通信業（社員）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度計画目標を策定中であるが、既存の客からも発注額の減少を言われており、昨年と同様の受注は望めない。別の新メニューにおいて付加価値を付けた提案をしていかざるをえない。</li> </ul>
		通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人向け情報通信サービスは、製造業や金融業などにネットワーク整備・拡大の動きがみられるが、その他の業種では目立った受注変化がない。SOHOや個人向けが主体のブロードバンドインターネット活用サービスは活発化してきているが、企業レベルではまだ一部を除いてネットワーク系の投資に慎重な様子が見える。</li> </ul>

	やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、発注量共に微増はしているが、利益につながる業務ではなく、また人材不足のため難しい状況が続いている。
		建設業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・今期の今月までの受注額は前年比で19%減と依然として上向き傾向になるとは言いがたいが、ただ民間受注だけを見ても12%増と確実に伸びてきている。減少の原因はやはり公共事業の減少によるものである。
	悪くなっている	コピーサービス業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・販売量は減少しており、止まらない。
雇用 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・中小企業での新卒採用が活発である。
		求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・企業からの求人媒体の問い合わせが増えてきた。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が、前年同月に比べ大幅に増加している。特に、医療福祉、情報サービス業からの求人が増加している。また、製造業についても、派遣・請負でなく自社採用の求人も出始め、ここ2～3年求人がなかった事業所からも募集がみられるようになった。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比べるとほぼ同数であるが、前年同月に比べるとかなり増加している。特に正社員の募集が多い。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・建設業、製造業の一部を除き、求人数は増加している。有効求職者数が横ばいとなったこともあり、求人倍率が上昇している。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・即戦力、即戦力と言われる時期が数年続いたが、最近の成約状況を見ていると30歳を超えてもポテンシャル採用をしていることが分かる。ポテンシャル採用は第二新卒まで、というのが定番であったが少しずつ年齢が高くなっている。第二新卒採用ができないため上方修正されたものと思われる。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は増加傾向となったが、好調な液晶ディスプレイ製造業や情報サービス業など特定企業からの大量求人があったためであり、その他の企業からの募集は依然として低調に推移している。
		民間職業紹介機関（職員）	雇用形態の様子	・専門性を必要としない職種での求人は、派遣・請負・パート等での求人となっているので、安定性のある正社員の雇用は増加していない。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・年度末に向けて補充人員等の求人を出していた地域周辺事業所も採用活動を終え、今年度新規学卒対象の求人は一段落といった状態が感じられる。周辺地域以外からの求人票受理件数も減少が始まり、就職未内定者にとっては厳しい時期となっている。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている			